

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	救急出場した際、車内収容後に傷病者がナイフをポケットに所持していた事が判明した事例
3. 体験した事例の中心的要素	胃が痛く統合失調症の既往があるとの内容で救急出場。 現場到着後、挙動不審な行動を取っていたため一旦救急車内に収容し状況を聴取したところ、精神的に不安定であり自分が死んでしまうかもしれない、警察にも通報したとの内容であったため警察に連絡し現場待機、警察官到着後110番通報内容を確認するとナイフを購入したとの通報内容であったもようで実際にポケット内にカッターナイフを隠し持っていたもの。なお、119番通報時はナイフ購入情報はなかったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	通報時に提供される情報が少ないことから、傷病者の所持品に凶器となるものを疑わないこと。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年5月2日 午前8時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：コンビニエンスストア前公衆電話
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	切り・こすれ
7. 事例体験時の活動	救急現場活動初期、[]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[30]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動 [初めて、1年に数度]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	傷病者に接触し病状を問診	
経過2	B・C	歩行可能であったため付き添い救急車内収容	
経過3	当事者全員	車内でバイタルサイン等観察	
経過4	A	後着した警察官に状況を聞きに行く	
経過5	B・C	車内でバイタルサイン等観察	
経過6	A	110番時の通報内容聴取(刃物の所持を知る)	
経過7	A	早急に警察官と共に凶器押収の為、車内へ	警察官により凶器押収
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
- ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について